

それぞれのスタイルで 働き続けられるように。

KITAC 株式会社 キタック
CONSULTING ENGINEERS

所在地:新潟市 業種:サービス業 従業員:153人

業務内容
新潟県を中心に東日本エリアの、建築コンサルタント業や地質調査業を担う総合建設コンサルタント。「安心・安全で豊かな社会づくり」のために、社会資本の調査、計画、設計、維持管理を行う。



代表取締役社長 中山 正子 さん

私は、ダイバーシティ推進のもと、多様な働き方を受け入れられる職場づくりを第一に考えています。ダイバーシティという「女性の活躍」とよく言われますが、それだけではありません。性別を問わず、その職に適性のある人を登用し、社員のライフステージが変わった時も働き続けられる環境を用意すること。社員の人生に何かあった時に、いかに支えてあげられるかが会社の大きな使命だと思っています。

女性の育児休業取得や復職後のサポートに関しては、周囲も非常に協力的ですが、男性に対しては「育児をする」という認識がまだ浸透していないと感じています。共働き世帯が増えた現代においては、「父親が働いて、母親は家庭を守る」という考え方では、社会が成長していきません。女性として、男性ももっと家事を担う必要があることを伝え、経営者として、家事や育児の時間を確保できるような環境を作っていくかと思っています。洗剤の詰め替えやトイレトーパーの買い置きなど「名前のつかない家事」を率先してやる。そういう積み重ねも育児参加の一つです。育児休業を取るだけでイクメンではないと思いますので、日頃から細かいことに気を回せる父親になってほしいですね。

現在、当社では休暇の取得方法に関して、会社独自の仕組みを整備中です。例えば、朝、子どもを保育園に送ってから会社に来て、さっとメールをチェックして帰り、家事を行うことができれば、休む側のストレスも減り、業務フォローもしやすくなります。育児休業も時間単位で換算して、期間を延長できるようにするなど、社員の要望に合わせた制度のあり方を模索中です。

環境づくりでもう一つ大切なことは「社員の子どもは社員みんなで育てる」という意識です。子を持つ親が育児の時間を確保できるように、他の社員が仕事のフォローをすることも子育ての助けになります。会社として、子どもと過ごす時間をいかに増やしてあげられるかを常に考えながら、これからも環境改善に努めていきます。

こんな取組を推進しています!

- 取組1 ダイバーシティの推進**
性別関係なく才能を発揮し、個々のライフスタイルを許容できる会社に
- 取組2 育児休業制度の周知徹底**
男性社員に対する周知を図り、取得しやすい環境づくりにつなげる
- 取組3 休暇・休業はカスタマイズで**
育児と仕事を両立できるように、柔軟な休暇・休業制度を導入・検討

育児休業はあくまで選択肢の一つ。 夫婦に合うスタイルで子育てを。

第1子誕生時に2週間、第2子誕生時に1カ月間育児休業を取得。「とりあえず聞いてみれば?」という妻の提案をきっかけに、社長(当時は総務部長)に直接相談したところ、一度目も二度目も快諾してくださり、スムーズに取得できました。

休業中は、一緒に遊んだり、お風呂に入ったり、お昼寝をしたり…。特別なことはしていませんが、毎日子どもの成長を間近で感じられて貴重な時間となりました。第2子の時は、特に子どもとの関係を深められたなと思います。上の子が、私の腕の中で寝てくれた時は感慨深かったですね。もし取得を検討しているなら、選択肢の一つとしてぜひ夫婦で話し合ってください。

育児休業を取得して家事や育児の大変さが身にしみて分かったので、可能な限り妻の負担を減らそうと思っています。定時で帰るために、いかに効率的に仕事を終わらせるかを考えながら働くようになりました。これからも、子どもの成長に合わせて、一番働きやすい形で働ければと思っています。

イクメン社員
石丸 俊太郎 さん
(31歳)



2018年3月発行



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言



<https://niigata-ikumen.jp>